

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2002-281226

(43)Date of publication of application : 27.09.2002

(51)Int.Cl.

H04N 1/00
G06F 13/00
H04N 1/32

(21)Application number : 2001-080408

(71)Applicant : KONICA CORP

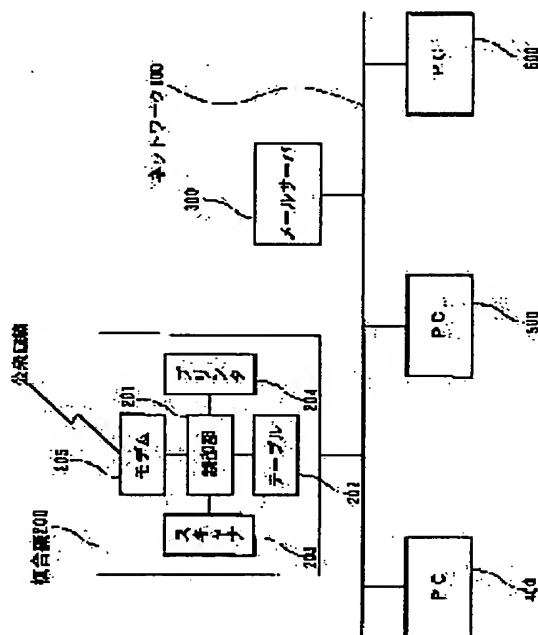
(22)Date of filing : 21.03.2001

(72)Inventor : INOUE HIROSHI

(54) FACSIMILE CONTROL METHOD, FACSIMILE APPARATUS, AND FACSIMILE CONTROL SYSTEM

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To achieve a facsimile control method for informing a person or a machine that should receive a facsimile when there is a facsimile communication having a sub address, and to provide a facsimile apparatus.
SOLUTION: The facsimile apparatus 200 connected to computers 400 to 600 by network 100 should have a table and a control section. The table maintains a sub address that is added to facsimile reception data, and the address of a user corresponding to the sub address. The control section refers to the table, and informs the computer of the user corresponding to the sub address of facsimile reception by referring to the table when the facsimile communication having the sub address is received by the facsimile apparatus.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号
特開2002-281226
(P2002-281226A)

(43)公開日 平成14年9月27日 (2002.9.27)

(51)Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テ-マ-ト [*] (参考)
H 0 4 N 1/00	1 0 7	H 0 4 N 1/00	1 0 7 Z 5 C 0 6 2
G 0 6 F 13/00	6 4 0	G 0 6 F 13/00	6 4 0 5 C 0 7 5
H 0 4 N 1/32		H 0 4 N 1/32	Z F

審査請求 未請求 請求項の数12 O L (全 8 頁)

(21)出願番号 特願2001-80408(P2001-80408)

(22)出願日 平成13年3月21日(2001.3.21)

(71)出願人 000001270

コニカ株式会社

東京都新宿区西新宿1丁目26番2号

(72)発明者 井上 啓

東京都八王子市石川町2970番地 コニカ株式会社内

(74)代理人 100085187

弁理士 井島 藤治 (外1名)

Fターム(参考) 5C062 AA02 AA13 AA35 AB38 AB42

AC22 AC35 AF00

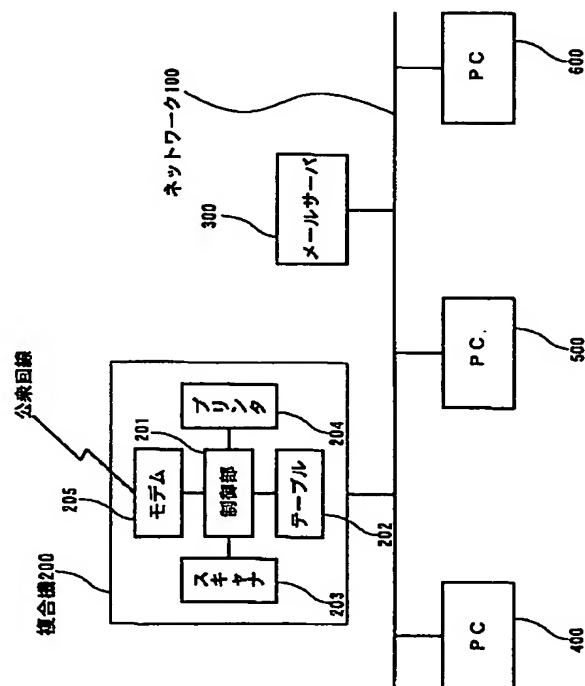
5C075 AB90 BA08 CD22 CF04 CF90

(54)【発明の名称】 ファクシミリ管理方法およびファクシミリ装置ならびにファクシミリ管理システム

(57)【要約】

【課題】 サブアドレスが付されたファクシミリの通信があった場合に、ファクシミリの受信をすべき人あるいは機械がファクシミリの通信の存在を知ることができるファクシミリ管理方法およびファクシミリ装置を実現する。

【解決手段】 ネットワーク100によりコンピュータ400~600と接続されたファクシミリ装置200において、ファクシミリ受信データに付されるサブアドレスと該サブアドレスに対応付けられたユーザのアドレスを保持するテーブルと、サブアドレスが付されているファクシミリ通信をファクシミリ装置で受信した場合に、前記テーブルを参照してサブアドレスに対応付けられたユーザのコンピュータに対してファクシミリ受信の通知を行う制御部と、を備えたことを特徴とする。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 ネットワーク上に配置されたファクシミリ装置とユーザのコンピュータとにより、ファクシミリの受信を管理するファクシミリ管理方法であって、サブアドレスが付されているファクシミリ通信をファクシミリ装置で受信した場合に、該ファクシミリ装置は前記サブアドレスに対応づけられたユーザのコンピュータに対してファクシミリ受信の通知を行う、ことを特徴とするファクシミリ管理方法。

【請求項 2】 前記通知を、ファクシミリ装置からユーザのコンピュータに対して直接行う、ことを特徴とする請求項 1 記載のファクシミリ管理方法。

【請求項 3】 前記通知を、ファクシミリ装置から通知用サーバを介してユーザのコンピュータに対して行う、ことを特徴とする請求項 1 記載のファクシミリ管理方法。

【請求項 4】 ファクシミリ受信データに付されるサブアドレスと該サブアドレスに対応付けられたユーザのアドレスを保持するテーブルと、

サブアドレスが付されているファクシミリ通信をファクシミリ装置で受信した場合に、前記テーブルを参照してサブアドレスに対応づけられたユーザのコンピュータに対してファクシミリ受信の通知を行う制御部と、を備えたことを特徴とするファクシミリ装置。

【請求項 5】 前記アドレスは、ネットワーク上のアドレスである、ことを特徴とする請求項 4 記載のファクシミリ装置。

【請求項 6】 前記アドレスは、ネットワーク上の電子メールアドレスである、ことを特徴とする請求項 4 記載のファクシミリ装置。

【請求項 7】 前記制御部は、ファクシミリ装置からユーザのコンピュータに対して直接通知する、ことを特徴とする請求項 4 記載のファクシミリ装置。

【請求項 8】 前記制御部は、通知用サーバを介してユーザのコンピュータに対して通知する、ことを特徴とする請求項 4 記載のファクシミリ装置。

【請求項 9】 ネットワーク上に配置されたファクシミリ装置とユーザのコンピュータとにより、ファクシミリ送受信の履歴を管理するファクシミリ管理方法であって、サブアドレスが付されているファクシミリ通信をファクシミリ装置で受信した場合に、該ファクシミリ装置は前記サブアドレスに対応づけられたユーザのコンピュータに対してファクシミリ受信の履歴の通知を行うと共に、ユーザによりファクシミリ装置を用いたファクシミリ送信があった場合に、該ユーザのコンピュータに対してファクシミリ送信の履歴の通知を行い、ユーザのコンピュータ側で前記履歴を参照してファクシミリ送受信の管理を行う、ことを特徴とするファクシミリ管理方法。

【請求項 10】 ネットワーク上に配置されたファクシミリ装置とユーザのコンピュータとにより、ファクシミリ送受信の履歴を管理するファクシミリ管理方法であって、

サブアドレスが付されているファクシミリ通信をファクシミリ装置で受信した場合に、該ファクシミリ装置は前記サブアドレスに対応づけられたユーザのコンピュータに対してファクシミリ受信の履歴の通知を行い、ユーザのコンピュータ経由でファクシミリ装置を用いたファクシミリ送信があった場合に、該ユーザのコンピュータは自分に対してファクシミリ送信の履歴の通知を行い、

ユーザのコンピュータ側で前記履歴を参照してファクシミリ送受信の管理を行う、ことを特徴とするファクシミリ管理方法。

【請求項 11】 ネットワーク上に配置されたファクシミリ装置とユーザのコンピュータとを備えて、ファクシミリ送受信の履歴を管理するファクシミリ管理システムであって、

サブアドレスが付されているファクシミリ通信をファクシミリ装置で受信した場合に、該ファクシミリ装置は前記サブアドレスに対応づけられたユーザのコンピュータに対してファクシミリ受信の履歴の通知を行うと共に、ユーザによりファクシミリ装置を用いたファクシミリ送信があった場合に、該ユーザのコンピュータに対してファクシミリ送信の履歴の通知を行い、

ユーザのコンピュータ側で前記履歴を参照してファクシミリ送受信の管理を行う、ことを特徴とするファクシミリ管理システム。

【請求項 12】 ネットワーク上に配置されたファクシミリ装置とユーザのコンピュータとを備えて、ファクシミリ送受信の履歴を管理するファクシミリ管理システムであって、

サブアドレスが付されているファクシミリ通信をファクシミリ装置で受信した場合に、該ファクシミリ装置は前記サブアドレスに対応づけられたユーザのコンピュータに対してファクシミリ受信の履歴の通知を行い、

ユーザのコンピュータ経由でファクシミリ装置を用いたファクシミリ送信があった場合に、該ユーザのコンピュータは自分に対してファクシミリ送信の履歴の通知を行い、

ユーザのコンピュータ側で前記履歴を参照してファクシミリ送受信の管理を行う、ことを特徴とするファクシミリ管理システム。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明はファクシミリ装置におけるファクシミリ送受信の管理に関し、特に、ファクシミリ装置とネットワーク接続されているユーザのコンピュータとの間の送受信の管理の改良に関する。

【0002】

【従来の技術】近年、オフィスにおいては、スキャナ・プリンタ・ファクシミリ装置が一体となった複合機と呼ばれる装置が使用されている。

【0003】また、ファクシミリ装置では、国際規格であるITU-TのG3規格で制定されたサブアドレスと呼ばれる通信機能が存在している。なお、このサブアドレス機能についての使用方法を一部統一化して、日本通信機械工業会がFコードという呼称を制定している。

【0004】なお、以上のサブアドレス機能（Fコード）によれば、サブアドレス（メールアドレス番号やパスワード）を用いることで、受信装置のメールアドレスを使用した原稿の登録・取り出しといった親展受信や中継機能に関する各種機能が実現される。

【0005】この場合、原稿送信局からメモリボックス局に対してファクシミリを送信してサブアドレスと共に原稿をメールアドレス内に登録しておき、取り出し局がサブアドレスを入力してメールアドレス局から原稿を取り出すことが可能になる。

【0006】

【発明が解決しようとする課題】このようなサブアドレスが付されたファクシミリの通信があった場合、取り出しの操作を行わない限り、受信装置のメールアドレス内に取り込まれたままである。

【0007】さらに、サブアドレスが付されたファクシミリの通信があったことを、ファクシミリの受信をすべき人あるいは機械が知らなければ、受信装置のメールアドレス内の原稿は取り出されないままになるという問題がある。

【0008】また、ネットワーク上に、複合機（ファクシミリ装置）とユーザのコンピュータとが存在する場合であっても、ファクシミリの送受信の履歴は複合機（ファクシミリ装置）の内部のテーブルでのみ管理されている。このため、ネットワーク接続されているユーザのコンピュータ側でファクシミリの送受信の履歴を知り、また、管理することはできなかった。

【0009】本発明は上述の課題を解決するためになされたものであって、第一の目的は、サブアドレスが付されたファクシミリの通信があった場合に、ファクシミリの受信をすべき人あるいは機械がファクシミリの通信の存在を知ることができるファクシミリ管理方法およびファクシミリ装置を実現することである。

【0010】本発明は上述の課題を解決するためになされたものであって、第二の目的は、ファクシミリ装置とネットワーク接続されているユーザのコンピュータ側でファクシミリの送受信の履歴を管理することが可能なファクシミリ装置管理方法およびファクシミリ管理システムを実現することである。

【0011】

【課題を解決するための手段】以上の課題を解決する本

発明は以下に述べるものである。

（1）請求項1記載の発明は、ネットワーク上に配置されたファクシミリ装置とユーザのコンピュータとにより、ファクシミリの受信を管理するファクシミリ管理方法であって、サブアドレスが付されているファクシミリ通信をファクシミリ装置で受信した場合に、該ファクシミリ装置は前記サブアドレスに対応づけられたユーザのコンピュータに対してファクシミリ受信の通知を行う、ことを特徴とするファクシミリ管理方法である。

【0012】なお、前記通知を、ファクシミリ装置からユーザのコンピュータに対して直接行う、ことができる。また、前記通知を、ファクシミリ装置から通知用サーバを介してユーザのコンピュータに対して行う、ことができる。

【0013】このファクシミリ管理方法では、サブアドレスが付されているファクシミリ通信をファクシミリ装置で受信した場合に、該ファクシミリ装置は前記サブアドレスに対応づけられたユーザのコンピュータに対してファクシミリ受信の通知を行うようにしている。

【0014】これにより、サブアドレスが付されたファクシミリの通信があった場合に、ファクシミリの受信をすべき人あるいは機械がファクシミリの通信の存在を知ることができるようになる。したがって、サブアドレスが付されたファクシミリの通信があったことを、ファクシミリの受信をすべき人あるいは機械が知らずにいて、受信装置のメールアドレス内の原稿が取り出されないままという事態を回避することができる。

【0015】（2）請求項4記載の発明は、ファクシミリ受信データに付されるサブアドレスと該サブアドレスに対応付けられたユーザのアドレスを保持するテーブルと、サブアドレスが付されているファクシミリ通信をファクシミリ装置で受信した場合に、前記テーブルを参照してサブアドレスに対応づけられたユーザのコンピュータに対してファクシミリ受信の通知を行う制御部と、を備えたことを特徴とするファクシミリ装置である。

【0016】なお、前記アドレスは、ネットワーク上のアドレスとすることができる。また、前記アドレスは、ネットワーク上の電子メールアドレスとすることができる。また、前記制御部は、ファクシミリ装置からユーザのコンピュータに対して直接通知する、ことができる。また、前記制御部は、通知用サーバを介してユーザのコンピュータに対して通知する、ことができる。

【0017】このファクシミリ装置では、サブアドレスが付されているファクシミリ通信をファクシミリ装置で受信した場合に、該ファクシミリ装置は前記サブアドレスに対応づけられたユーザのコンピュータに対してファクシミリ受信の通知を行うようにしている。

【0018】これにより、サブアドレスが付されたファクシミリの通信があった場合に、ファクシミリの受信をすべき人あるいは機械がファクシミリの通信の存在を知

ることができるようになる。したがって、サブアドレスが付されたファクシミリの通信があったことを、ファクシミリの受信をすべき人あるいは機械が知らずにいて、受信装置のメールボックス内の原稿が取り出されないままという事態を回避することができる。

【0019】(3)請求項9記載の発明は、ネットワーク上に配置されたファクシミリ装置とユーザのコンピュータとにより、ファクシミリ送受信の履歴を管理するファクシミリ管理方法であって、サブアドレスが付されているファクシミリ通信をファクシミリ装置で受信した場合に、該ファクシミリ装置は前記サブアドレスに対応づけられたユーザのコンピュータに対してファクシミリ受信の履歴の通知を行うと共に、ユーザによりファクシミリ装置を用いたファクシミリ送信があった場合に、該ユーザのコンピュータに対してファクシミリ送信の履歴の通知を行い、ユーザのコンピュータ側で前記履歴を参照してファクシミリ送受信の管理を行う、ことを特徴とするファクシミリ管理方法である。

【0020】このファクシミリ管理方法では、サブアドレスが付されているファクシミリ通信をファクシミリ装置で受信した場合に、該ファクシミリ装置は前記サブアドレスに対応づけられたユーザのコンピュータに対してファクシミリ受信の履歴の通知を行うと共に、ユーザによりファクシミリ装置を用いたファクシミリ送信があった場合に、該ユーザのコンピュータに対してファクシミリ送信の履歴の通知を行う。そして、ユーザのコンピュータ側で前記履歴を参照してファクシミリ送受信の管理を行う。

【0021】これにより、ファクシミリ装置とネットワーク接続されているユーザのコンピュータ側でファクシミリの送受信の履歴を知り、また、管理することが可能になる。

【0022】(4)請求項10記載の発明は、ネットワーク上に配置されたファクシミリ装置とユーザのコンピュータとにより、ファクシミリ送受信の履歴を管理するファクシミリ管理方法であって、サブアドレスが付されているファクシミリ通信をファクシミリ装置で受信した場合に、該ファクシミリ装置は前記サブアドレスに対応づけられたユーザのコンピュータに対してファクシミリ受信の履歴の通知を行い、ユーザのコンピュータ経由でファクシミリ装置を用いたファクシミリ送信があった場合に、該ユーザのコンピュータは自分に対してファクシミリ送信の履歴の通知を行い、ユーザのコンピュータ側で前記履歴を参照してファクシミリ送受信の管理を行う、ことを特徴とするファクシミリ管理方法である。

【0023】このファクシミリ管理方法では、サブアドレスが付されているファクシミリ通信をファクシミリ装置で受信した場合に、該ファクシミリ装置は前記サブアドレスに対応づけられたユーザのコンピュータに対してファクシミリ受信の履歴の通知を行う。また、ユーザの

コンピュータ経由でファクシミリ装置を用いたファクシミリ送信があった場合に、該ユーザのコンピュータは自分に対してファクシミリ送信の履歴の通知を行う。そして、ユーザのコンピュータ側で前記履歴を参照してファクシミリ送受信の管理を行う。

【0024】これにより、ファクシミリ装置とネットワーク接続されているユーザのコンピュータ側でファクシミリの送受信の履歴を知り、また、管理することが可能になる。

【0025】(5)請求項11記載の発明は、ネットワーク上に配置されたファクシミリ装置とユーザのコンピュータとを備えて、ファクシミリ送受信の履歴を管理するファクシミリ管理システムであって、サブアドレスが付されているファクシミリ通信をファクシミリ装置で受信した場合に、該ファクシミリ装置は前記サブアドレスに対応づけられたユーザのコンピュータに対してファクシミリ受信の履歴の通知を行うと共に、ユーザによりファクシミリ装置を用いたファクシミリ送信があった場合に、該ユーザのコンピュータに対してファクシミリ送信の履歴の通知を行い、ユーザのコンピュータ側で前記履歴を参照してファクシミリ送受信の管理を行う、ことを特徴とするファクシミリ管理システムである。

【0026】このファクシミリ管理システムでは、サブアドレスが付されているファクシミリ通信をファクシミリ装置で受信した場合に、該ファクシミリ装置は前記サブアドレスに対応づけられたユーザのコンピュータに対してファクシミリ受信の履歴の通知を行うと共に、ユーザによりファクシミリ装置を用いたファクシミリ送信があった場合に、該ユーザのコンピュータに対してファクシミリ送信の履歴の通知を行う。そして、ユーザのコンピュータ側で前記履歴を参照してファクシミリ送受信の管理を行う。

【0027】これにより、ファクシミリ装置とネットワーク接続されているユーザのコンピュータ側でファクシミリの送受信の履歴を知り、また、管理することが可能になる。

【0028】(6)請求項12記載の発明は、ネットワーク上に配置されたファクシミリ装置とユーザのコンピュータとを備えて、ファクシミリ送受信の履歴を管理するファクシミリ管理システムであって、サブアドレスが付されているファクシミリ通信をファクシミリ装置で受信した場合に、該ファクシミリ装置は前記サブアドレスに対応づけられたユーザのコンピュータに対してファクシミリ受信の履歴の通知を行い、ユーザのコンピュータ経由でファクシミリ装置を用いたファクシミリ送信があった場合に、該ユーザのコンピュータは自分に対してファクシミリ送信の履歴の通知を行い、ユーザのコンピュータ側で前記履歴を参照してファクシミリ送受信の管理を行う、ことを特徴とするファクシミリ管理システムである。

【0029】このファクシミリ管理システムでは、サブアドレスが付されているファクシミリ通信をファクシミリ装置で受信した場合に、該ファクシミリ装置は前記サブアドレスに対応づけられたユーザのコンピュータに対してファクシミリ受信の履歴の通知を行う。また、ユーザのコンピュータ経由でファクシミリ装置を用いたファクシミリ送信があった場合に、該ユーザのコンピュータは自分に対してファクシミリ送信の履歴の通知を行う。そして、ユーザのコンピュータ側で前記履歴を参照してファクシミリ送受信の管理を行う。

【0030】これにより、ファクシミリ装置とネットワーク接続されているユーザのコンピュータ側でファクシミリの送受信の履歴を知り、また、管理することが可能になる。

【0031】

【発明の実施の形態】図1は本発明の実施の形態のファクシミリ装置とその周辺の接続例を示すブロック図である。なお、この図1は本実施の形態例の動作説明に必要な機能を中心に記載しているため、細部の詳細なハードウェア構成は省略してある。

【0032】この図1において、100はLAN、インターネット、イントラネットなどの各種ネットワークである。200は画像や文書の入力を行うのスキヤナ203、画像や文書の印刷を行うプリンタ204、そして、原稿の読み取り・送信・受信・プリントを行うファクシミリ装置が一体となった複合機である。なお、複合機200は、ネットワーク100を介して各種機器とデータ交換を行うことが可能であり、さらに、公衆回線を介してファクシミリの送受信が可能なのである。

【0033】300はネットワーク100を介して各種機器間で電子メールの送受信を司るメールサーバである。400～600のそれぞれは、ネットワーク100に接続されている各ユーザのコンピュータ（PC）であり、それぞれを識別するための固有のアドレスを有している。

【0034】なお、前記複合機200には、ファクシミリ受信データに付されるサブアドレスに対応付けられたユーザのアドレスを保持するテーブル202と、サブアドレスが付されているファクシミリ通信をファクシミリ装置で受信した場合に前記テーブルを参照してサブアドレスに対応づけられたユーザのコンピュータに対してファクシミリ受信の通知を行う制御部201と、が設けられている。

【0035】また、複合機200のファクシミリ機能では、国際規格であるITU-TのG3規格で制定されたサブアドレスと呼ばれる通信機能を満足しており、受信装置のメールボックスを使用した原稿の登録・取り出しといった親展受信や中継機能に関する既知の各種機能が実現可能であるとする。

【0036】なお、ここでは、一例としてITU-Tの

G3規格で定められたサブアドレス（日本通信機械工業会のFコード通信）の場合を用いるが、ITU-TのG4や他の通信規格の場合の同様な通信を除外するものではない。

【0037】〈第1の実施の形態例〉以下、図2を参照して、本発明の第1の実施の形態例のファクシミリ管理方法およびファクシミリ装置ならびにファクシミリ管理システムについて説明を行う。

【0038】ここでは、複合機200が公衆回線を介してファクシミリ通信を受信したとする。その場合に、複合機200内のCPUや制御プログラム（以下、これらを制御部と呼ぶ）は、受信したファクシミリ通信がFコード通信であるか（サブアドレス付加であるか）を調べる。

【0039】サブアドレス付加でない場合（図2S1でNO）は、通常のファクシミリ通信であるので、ファクシミリ受信データを複合機200で通常の手順でプリントして出力する（図2S10）。

【0040】サブアドレス付加である場合（図2S1でYES）は、Fコード通信であるので、ファクシミリ受信データを複合機200でプリントせずに、本実施の形態例の特徴である以下の処理を実行する。

【0041】まず、複合機200内の制御部は、ファクシミリ受信データに付されているサブアドレスを検出し、サブアドレスに対応付けられたユーザのアドレスを保持するテーブルを参照して、サブアドレスに対応付けられたユーザのアドレスが登録されているかを調べる（図2S2）。

【0042】サブアドレス付加であるが、サブアドレスに対応付けられたユーザのアドレスがテーブルに登録されていない場合（図2S2でNO）、従来からの通常のFコード通信と同様の手順で、複合機200においてファクシミリ受信データの取り出しの操作（メールボックス番号の入力、パスワードの入力）を待って（図2S9）、ファクシミリ受信データを複合機200でプリントして出力する（図2S10）。

【0043】サブアドレス付加であり、サブアドレスに対応付けられたユーザのアドレスがテーブルに登録されている場合（図2S2でYES）、複合機200内の制御部は、サブアドレスに対応付けられたユーザのアドレスを保持するテーブルを参照して、サブアドレスに対応付けて登録されたユーザの送信先（コンピュータ直接通知／電子メール送信）を調べる（図2S3）。

【0044】ここで、送信先がコンピュータ直接通知に指定されていれば、複合機200の制御部は、サブアドレスに対応してテーブルに格納されている送信先（コンピュータのアドレス）を参照して、ファクシミリ通信を受信した旨を、ネットワーク100を介してコンピュータ400～600のいずれかに直接通知する（図2S4）。

【0045】また、送信先が電子メール送信に指定されていれば、複合機200の制御部は、サブアドレスに対応してテーブルに格納されている送信先（コンピュータの電子メールアドレス）を参照して、ファクシミリ通信を受信した旨を、メールサーバ300を介してコンピュータ400～600のいずれかに電子メール送信する（図2S5）。

【0046】そして、通知あるいは電子メールを受けたコンピュータ400～600のいずれかでは、自動的あるいはユーザの指示により、ファクシミリ受信データの取り出しの要求を複合機200に対して行う（図2S7でYES）。このような取り出しの要求をコンピュータから受けた複合機200の制御部は、ファクシミリ受信データをコンピュータに対して転送する（図2S11）。

【0047】このようなファクシミリ管理では、サブアドレスが付されたファクシミリ通信があった場合に、ファクシミリの受信をすべき人（ユーザ）あるいは機械（コンピュータ）がファクシミリの通信の存在を知ることができるようになる。したがって、サブアドレスが付されたファクシミリの通信があったことを、ファクシミリの受信をすべき人あるいは機械が知らずにいて、複合機200のメールボックス内の原稿が取り出されないままという事態を回避することができる。

【0048】なお、一定時間経過してもファクシミリ受信データの取り出しの要求が複合機200に対して成されない場合（図2S7でNO、S8でYES）、従来からの通常のFコード通信と同様の手順で、複合機200においてファクシミリ受信データの取り出しの操作（メールボックス番号の指定、パスワードの入力）を待つ（図2S9）、ファクシミリ受信データを複合機200でプリントして出力する（図2S10）。

【0049】〈第2の実施の形態例〉つぎに、第2の実施の形態例として、ネットワーク100上に配置された複合機200とユーザのコンピュータ400～600とを備え、ファクシミリ送受信の履歴を管理するためのファクシミリ管理システムを説明する。

【0050】サブアドレスが付されているファクシミリ通信を複合機200で受信した場合に、ファクシミリ受信の通知や電子メール（第1の実施の形態例参照）と共に、該複合機200は前記サブアドレスに対応づけられたユーザのコンピュータ400～600のいずれかに対してファクシミリ受信の履歴の通知を行う。

【0051】さらに、ユーザが複合機200を操作してファクシミリ送信を行った場合に、操作時に入力されたIDコードや該IDコードとユーザのコンピュータのアドレスとの対応関係が蓄積されたテーブル等を参照して、該ユーザのコンピュータ400～600のいずれかに対してファクシミリ送信の履歴の通知を行う。

【0052】そして、ユーザのコンピュータ側で、上述

した複合機200からの履歴の通知を参照してファクシミリ送受信の履歴の管理を行う。たとえば、このファクシミリ送受信の履歴をデータベースにより管理する。これにより、複合機200とネットワーク接続されているユーザのコンピュータ側でファクシミリの送受信の履歴を知り、また、管理することが可能になる。

【0053】なお、ユーザのコンピュータ経由で複合機200のモデム部分を用いたファクシミリ送信（PCファクシミリ送信）があった場合に、該ユーザのコンピュータ400～600のいずれかは自分に対してファクシミリ送信の履歴の通知を行う。そして、この場合も、ユーザのコンピュータ側で前記履歴を参照してファクシミリ送受信の管理を行うことが可能になる。これにより、ファクシミリ装置とネットワーク接続されているユーザのコンピュータ側でファクシミリの送受信の履歴を知り、また、管理することが可能になる。

【0054】

【発明の効果】以上説明したように、この発明によれば以下のような効果が得られる。

（1）請求項1記載のファクシミリ管理方法では、サブアドレスが付されているファクシミリ通信をファクシミリ装置で受信した場合に、該ファクシミリ装置は前記サブアドレスに対応づけられたユーザのコンピュータに対してファクシミリ受信の通知を行うようにしている。

【0055】これにより、サブアドレスが付されたファクシミリの通信があった場合に、ファクシミリの受信をすべき人あるいは機械がファクシミリの通信の存在を知ることができるようになる。したがって、サブアドレスが付されたファクシミリの通信があったことを、ファクシミリの受信をすべき人あるいは機械が知らずにいて、受信装置のメールボックス内の原稿が取り出されないままという事態を回避することができる。

【0056】（2）請求項4記載のファクシミリ装置では、サブアドレスが付されているファクシミリ通信をファクシミリ装置で受信した場合に、該ファクシミリ装置は前記サブアドレスに対応づけられたユーザのコンピュータに対してファクシミリ受信の通知を行うようにしている。

【0057】これにより、サブアドレスが付されたファクシミリの通信があった場合に、ファクシミリの受信をすべき人あるいは機械がファクシミリの通信の存在を知ることができるようになる。したがって、サブアドレスが付されたファクシミリの通信があったことを、ファクシミリの受信をすべき人あるいは機械が知らずにいて、受信装置のメールボックス内の原稿が取り出されないままという事態を回避することができる。

【0058】（3）請求項9記載のファクシミリ管理方法では、サブアドレスが付されているファクシミリ通信をファクシミリ装置で受信した場合に、該ファクシミリ装置は前記サブアドレスに対応づけられたユーザのコン

ピュータに対してファクシミリ受信の履歴の通知を行うと共に、ユーザによりファクシミリ装置を用いたファクシミリ送信があった場合に、該ユーザのコンピュータに対してファクシミリ送信の履歴の通知を行う。そして、ユーザのコンピュータ側で前記履歴を参照してファクシミリ送受信の管理を行う。

【0059】これにより、ファクシミリ装置とネットワーク接続されているユーザのコンピュータ側でファクシミリの送受信の履歴を知り、また、管理することが可能になる。

【0060】(4) 請求項10記載のファクシミリ管理方法では、サブアドレスが付されているファクシミリ通信をファクシミリ装置で受信した場合に、該ファクシミリ装置は前記サブアドレスに対応づけられたユーザのコンピュータに対してファクシミリ受信の履歴の通知を行う。また、ユーザのコンピュータ経由でファクシミリ装置を用いたファクシミリ送信があった場合に、該ユーザのコンピュータは自分に対してファクシミリ送信の履歴の通知を行う。そして、ユーザのコンピュータ側で前記履歴を参照してファクシミリ送受信の管理を行う。

【0061】これにより、ファクシミリ装置とネットワーク接続されているユーザのコンピュータ側でファクシミリの送受信の履歴を知り、また、管理することが可能になる。

【0062】(5) 請求項11記載のファクシミリ管理システムでは、サブアドレスが付されているファクシミリ通信をファクシミリ装置で受信した場合に、該ファクシミリ装置は前記サブアドレスに対応づけられたユーザのコンピュータに対してファクシミリ受信の履歴の通知を行うと共に、ユーザによりファクシミリ装置を用いた 30 ファクシミリ送信があった場合に、該ユーザのコンピュ*

*ータに対してファクシミリ送信の履歴の通知を行う。そして、ユーザのコンピュータ側で前記履歴を参照してファクシミリ送受信の管理を行う。

【0063】これにより、ファクシミリ装置とネットワーク接続されているユーザのコンピュータ側でファクシミリの送受信の履歴を知り、また、管理することが可能になる。

【0064】(6) 請求項12記載のファクシミリ管理システムでは、サブアドレスが付されているファクシミリ通信をファクシミリ装置で受信した場合に、該ファクシミリ装置は前記サブアドレスに対応づけられたユーザのコンピュータに対してファクシミリ受信の履歴の通知を行う。また、ユーザのコンピュータ経由でファクシミリ装置を用いたファクシミリ送信があった場合に、該ユーザのコンピュータは自分に対してファクシミリ送信の履歴の通知を行う。そして、ユーザのコンピュータ側で前記履歴を参照してファクシミリ送受信の管理を行う。

【0065】これにより、ファクシミリ装置とネットワーク接続されているユーザのコンピュータ側でファクシミリの送受信の履歴を知り、また、管理することが可能になる。

【図面の簡単な説明】

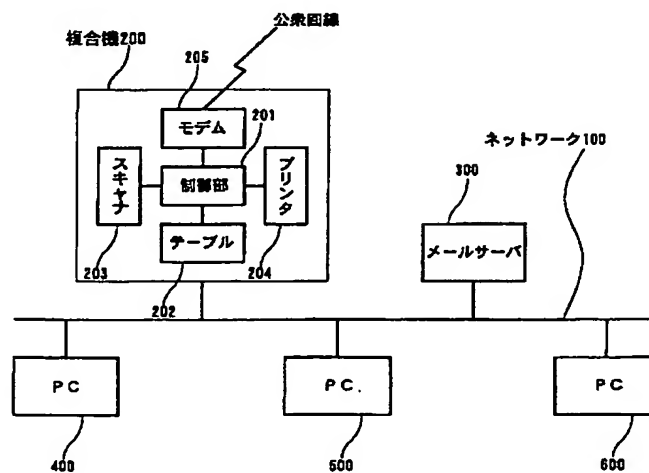
【図1】本発明の実施の形態におけるファクシミリ管理に用いる装置接続構成を示すブロック図である。

【図2】本発明の実施の形態例による動作状態を示すフローチャートである。

【符号の説明】

- 100 ネットワーク
- 200 複合機
- 300 メールサーバ
- 400～600 コンピュータ

【図1】



【図2】

